

ひなたぼっこ

令和 2年 9月発行

第46号

第4回 4大認知症の一つ【**脳血管性認知症**】

今回は、「認知症には種類がある！4大認知症とは？」のシリーズ最終章「脳血管性認知症」について紹介します。

脳血管性認知症とは？

脳血管性認知症は、女性よりも男性の方が多く発症している傾向があります。アルツハイマー型認知症に次いで患者が多いとされる認知症です。

<原因>

- *脳梗塞や脳出血、くも膜下出血などの脳の血管の病気
 - *血管の病気を引き起こす原因は動脈硬化
動脈硬化の危険因子…高血圧、糖尿病、心疾患、脂質異常症、喫煙など
- ⇒脳血管性認知症は生活習慣によって引き起こされます。

アルツハイマー型と診断された方の中には血管障害を起こしている患者も多いです。

脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症を併発した場合を、**混合型認知症**といいます。

<症状の特徴>

○まだら認知症○

*物忘れをしたり計算が出来なくても、判断力や専門知識などは維持されている場合があります。

*出来ないと思っていた事が出来る時もあります。

→1日の中でも状態が変化し、症状に波があります。介護者はそのことを理解して接することが重要です。

○感情失禁○

*感情がコントロールできなくなるため、すぐに泣いたり怒ったりします。

*落ち着いていても急に悪化するなど変動が大きいことも特徴です。

○その他○

*服の前後や上下を認識できず逆さまに着る
*箸や歯ブラシの使い方が分からなくなる等



〇〇〇〇〇対応と予防〇〇〇〇〇

○初期段階の場合、自分が認知症だと理解できているため、配慮がより必要

…できない事が増えていく事を自覚するのは本人にとって大変辛い状況。そのことに配慮し、辛い状況を受け止める言動を心掛けましょう。

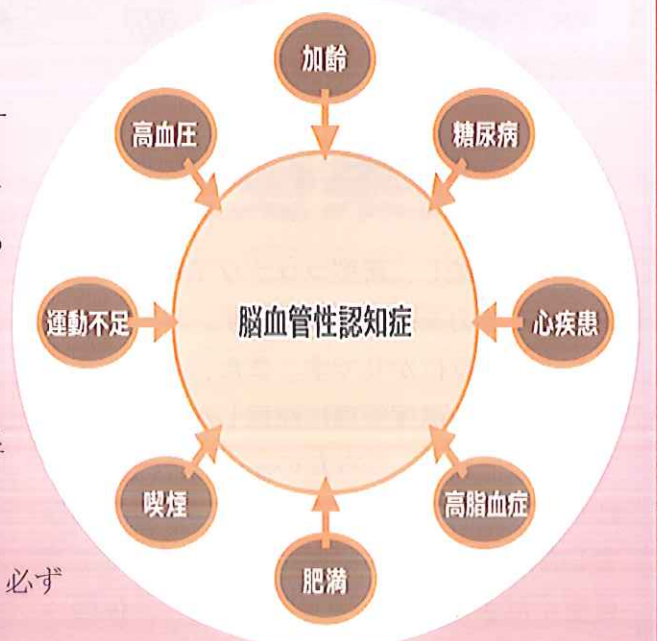
○1日のうちでも波があることを理解する

○生活習慣を見直す

…認知症の背景にある脳梗塞などの疾患にならないように注意をする事が一番の予防策といえます。

○受診を欠かさず、治療を受ける

…脳血管疾患になったことがある人は再発しやすいため、必ず定期通院しましょう。



ひなたの家での活動

日常生活

外出自粛でも毎日元気に体を動かしコロナウイルス負けない体力作りをしています。



クラブト作品



今年も半年が過ぎ暑い季節となりました。今回はコロナウイルスの終息を思いつつ個々に願いを込めて七夕クラフトと、見た目涼しげな可愛らしいあさがおの作品を作成しました。



ひなたの家の野菜菜園

今年も春に植えたひなたミ二菜園の野菜が美味しく実を付けました★ 収穫時は、皆さんの笑顔が多く見ることが出来ました！！トマトやナスを入居者様と一緒に料理し美味しく頂きました♡



スイカ割り

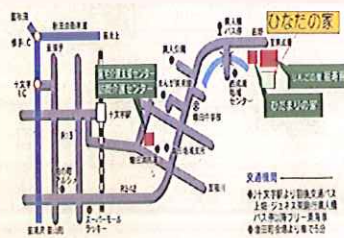
大きなスイカに、入居者様から職員まで大興奮しました！！スイカ割りを行ないとっても甘〜いスイカを堪能されました☆彡



編集後記

現在も継続し、新型コロナウイルスの感染予防にご協力を頂いております。早く終息することを願うばかりです。また、今年も猛暑となり毎日の温度管理に注意しながら過ごして参りましたが、ひなたの家では体調を崩される方もおらず室内で夏の行事などを楽しみました。皆様も、体調管理にお気を付けてご自愛くださいませ。 佐藤

発行・編集／認知症対応型共同生活介護
グループホーム ひなたの家
広報委員会 鈴木・佐藤・瀧澤



〒019-0703
秋田県横手市増田町
吉野字梨木塚 95-2
TEL 0182-55-1158
FAX 0182-45-2280

ひなたの家では、慰問やボランティアの方を募集しております。お気軽にお問い合わせ下さい。